

## さらなる障害者施策の充実を図る

福祉委員会

12月14日

所管事務調査

第4次障害者福祉基本計画（案）

障害者福祉基本計画（案）について説明を受けました。  
主な質疑は次のとおりです。

【問】計画推進の視点の見直しは、どのような観点から行われたか。

【答】「障害特性や複合的困難に配慮したきめ細かい支援」について、ひきこもり、孤立化等、複合的要因に基づく問題の複雑化を踏まえ、視点を更に広げたものとした。

【問】障害者の状況やアンケート調査などの結果をどのように計画案に反映したのか。

【答】統計データに基づく障害者の状況は施策の背景として、また、アンケート調査などの結果は、第4章の障害者施策の展開において反映するなどした。

【問】福祉サービスの人材の確保・育成における問題認識や対応は。

【答】特に計画相談支援における相談支援専門員の不足が課題。資格取得に必要な研修の受講費用を助成するなどしている。

福祉委員会

12月14日

所管事務調査

高齢者福祉計画（平成30（2018）年度、令和5（2023）年度）中間見直し（案）

高齢者福祉計画中間見直し（案）について説明を受けました。  
主な質疑は次のとおりです。

【問】新しい生活様式を踏まえた高齢者の通いの場の確保や機能低下を防止する施策は。

【答】サロン等に対しては感染予防対策を啓発し、高齢者の機能低下防止については、在宅でも取り組めるよう動画等を作成し、YouTube等に掲載している。

【問】高齢者の移動支援対策は。

【答】総合事業の移動支援サービスを継続して検討するとともに、ボランティア輸送の導入に積極的な市民等に対する支援の仕組みなども検討していく。

【問】在宅医療を行っている診療所等の数と研修の実施状況は。

【答】令和2年6月末現在、医療機関は14件、医師は55人。在宅医療の導入及び推進に向けての研修を、市の補助により、医師会が実施している。

## 減災のための目標と施策を策定

産業建設委員会

12月15日

所管事務調査

建築物耐震改修促進計画改定（案）

建築物耐震改修促進計画改定（案）について説明を受けました。  
主な質疑は次のとおりです。

【問】令和12年度までに耐震性が不十分な住宅をおおむね解消するとは、どの程度を想定しているか。

【答】国や県の計画で目標数値は定められていない。具体的な数値が示されれば、本市の目標として考えていく。

【問】圧迫死を限りなく「ゼロ」にする目標に向けての取り組みは。

【答】住宅等による圧迫死をできる限りなくするため、シェルター設置補助などを利用していただくよう、周知・啓発を行っている。

【問】耐震改修補助の新しい制度や増額を考へる考えは。

【答】県内他市町村と比較し、手厚い補助を行っている。新設や増額は考えていないが、今後、県や他市の状況を注視し、検討する。



## 経営基盤と財政マネジメントの強化を図る

産業建設委員会  
所管事務調査

12月15日

下水道事業経営戦略（案）

下水道事業経営戦略（案）について説明を受けました。  
主な質疑は次のとおりです。

【問】策定経緯と県内各市の状況は。

【答】総務省の通知で2年度までの策定が求められており、経営の土台となる企業会計の移行を優先し、検討を進めてきた。元年度末で県内18市30事業が策定済みで、本年度22市37事業が策定予定。

【問】策定する上での方針は。

【答】社会資本整備総合交付金の交付要件に関わるため、国のガイドライン等に準拠し、本市水道事業や他市の経営戦略を参考に、部局内で調査・研究を進めてきた。

【問】収支ギャップの解消のため、経費回収率を改善する取り組みは。

【答】排水設備業務の包括民間委託による経費節減、使用料見直し等。

【問】使用料の見直しの考え方は。

【答】抜本的に見直す必要があり、ライフスタイルに適した料金体系の適用などがポイントとなる。

## イオンモール開業に伴う道路改良の方針と出店概要

議会協議会

12月22日

名鉄八幡駅周辺地区のまちづくり

名鉄八幡駅周辺地区のまちづくりについて説明を受けました。  
主な質疑は次のとおりです。

【問】令和3年度当初にイオンモールから出店概要書が提出されれば、小売店への影響調査等が可能かと思うが、どう考えるか。

【答】現段階では予定していないが、出店概要を聞き取り、判断する。地元商業者等に対する支援として、新たな補助制度を予定している。イオンモールのオープンに先行して行い、市全体の商業のかさ上げを図っていく。

【問】緊急車両用に設けられる道路のゼブラ帯は、市民病院へ乗り入れる車両に十分対応できるのか。

【答】道路のゼブラ帯は3メートルでほぼ1車線あり、緊急車両が容易に通ることができると考える。交差点解析においても、渋滞は回避できると考える。

【問】篠東野口線の交通量について、今回の計画での文化会館や保健施設の想定は。

【答】今回の交通量調査については、文化会館の規模等が明確でなく、除外している。計画が明らかになった段階で、再度検証が必要と考える。



## その他に開催された委員会

11月13日 産業建設委員会  
第3次都市計画マスタープラン（案）  
立地適正化計画の改定（案）

12月14日 福祉委員会  
第6期障害福祉支援計画 第2期障害児福祉支援計画（案）

12月15日 産業建設委員会  
緑の基本計画2021→2030（案）

